

	山口大学 学際分野
学部等の教育研究 組織の名称	東アジア研究科 (D : 10名)
沿 革	昭和 24 (1949) 年 山口大学設置 平成 13 (2001) 年 東アジア研究科設置
設 置 目 的 等	平成 13 (2001) 年に、山口大学の地理的環境と研究の蓄積及び国際交流の経験に基礎を置き、東アジアの地域特性に対する深い理解を基盤として複眼的な視野と柔軟な思考力のもとに、問題解決のための高度な専門知識を発揮しうる人材の養成、指導的高度専門職業人の養成を目的として東アジア研究科が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>山口大学における学際分野においては、真理の探究を図るとともに、地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東アジアの地域特性に対する深い理解を基盤として、複眼的な視野と柔軟な思考力を持ち、問題解決のための高度な専門知識を発揮するとともに、東アジア地域で活躍する指導的高度専門職業人を養成する。 ○ このため、学生の研究活動を複数領域の教員とともに実施するジョイントセミナー形式の授業を通じて、複眼的な視座で問題を把握しアプローチを行う能力の育成に取り組んでいる。 ○ これらの取組を通じて、東アジア研究科の社会人学生を除く修了生の約7割が、東アジア各地域の大学等で教員・研究者の職に就いている。 ○ 今後、修士課程3研究科と連携した5年一貫の段階的かつ組織的な研究指導体制の構築などにより、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 東アジアの地域特性に関する研究実績をいかし、東アジアの文化、社会、経済、教育に関する学際的なプロジェクト研究を推進し、その成果を社会並びに学会に迅速に還元できる研究体制の確立に取り組んでいる。
- 今後、プロジェクト研究の成果を英語による論文や冊子等で発信するとともに、外国人研究員の招へい等により、東アジアに関する国際的共同研究を推進する。また、研究科の枠を超えた総合的な研究を組織的に推進する。

【その他】

- 全学的な機能強化を図る観点から、社会や産業界のニーズを踏まえつつ、大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等の見直しに取り組む。